

平成25年度事業報告書

平成25年7月1日から平成26年6月30日まで

特定非営利活動法人 NPO ながさき

I. 主な事業概要

本年度は昨年度に続き、「ながさきプロボノ・プロジェクト事業」（自主事業）を実施しました。又、新しい事業として「NPO等支援事業」＝「ながさき共感寄付」事業を実施しました。

NPO法人会計基準は、「市民にとってわかりやすい会計報告であること」「社会の信頼にこたえうるような正確な会計報告であること」という視点から、市民参加型の作成プロセスによって作り上げられました。NPOながさきもこの協議会に参加しており、会計基準の普及・啓発活動を引き続き担っていきました。

1. 組織運営体制

認定NPO法人への移行を見据えて、正会員・賛助会員の増加策を推進して行く必要があります。「NPO等支援事業」の開始に伴い、助成対象団体と協働して寄付金の募集に取り組む必要があります。

II. 事業報告

① 総会

日時：平成25年8月24日（土）、15:30～16:30 場所：「出島交流会館」4F

第1号議案 平成24年度事業報告及び活動決算（監査報告）

第2号議案 平成25年度事業計画及び活動予算

②情報収集&提供事業（教育普及事業）

ア. **ipad** 講座(自主事業)

日時：平成25年8月24日（土）、13:00～14:30 場所：「出島交流会館」4F

講師：草原 津代子（IC3 認定インストラクター）

NPO法人 新現役の会長崎センターより **ipad** 10台を借用し、会員向けに **ipad** の体験講座を実施しました。参加者数15名。

イ. **新会計基準導入セミナー**（自主事業）

○内容：NPO法人向け会計ソフトである「会計王 15」を利用して、新会計基準に対応した処理方法を体験し、学ぶセミナー

○開催日時&場所：平成26年3月15日&29日 13:30～16:00、NPOながさき研修室
（長崎市立図書館より変更しました）

○参加料：無料

○講師：川崎清廣税理士

岡村麻美（ソリマチ(株)九州ブロック）

開催日	会場	受講数（人）
H26. 3. 15	長崎市立図書館 3F パソコン室	4
H26. 3. 29	長崎市立図書館 3F パソコン室	5

昨年度も実施したセミナーであるが、会計ソフトの使用が定着しつつあると思われます。従来と比較し参加者数が減少しており、セミナーの内容を検討する必要があります。

③マネジメントサポート事業

ア. 窓口相談・助言事業（自主事業）

○内容：県南（長崎市）及び県北（佐世保市）において専門家会員（税理士）に委託し、常時（月から金、10時から17時）NPO法人等に関する相談・助言窓口を設置し、NPO法人等への相談・助言を継続的に行った。

○実施時期：平成25年7月より平成26年6月まで

○設置会場及び相談者数等：（長崎33件、佐世保8件、計41件）

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	4		1	4	4	3	1	1	1	3	6	5
佐世保	1				1	1				1	1	3
計	5	0	1	4	5	4	1	1	1	4	7	8

イ. 「～プロボノを活用した～市民活動サポート体制構築事業」

NPO等が抱える専門的人材不足から来る課題を、プロボノを活用して解決する仕組み＝サポート体制を構築したいと考えております。

・「NPO応援フェア」の開催

日時：平成25年11月2日（土）、13:00～16:30 場所：「えきまえ」いきいき広場

講師：「共感寄付が始まります！」：川崎清廣

「共感寄付に応募して～しあわせな未来は、私が選ぶ～」：末永美紀子

プロボノ助成NPOの事例発表

NPO交流コーナー（助成NPO法人等の出展と交流）

・サポート事業（NPO助成団体の募集及び助成先の決定等）

平成25年4月決定した2NPO法人等への助成を実施した。（助成分野は経理サービス及び広報サービス（HP改訂）です）しかし、経理サービスを希望した法人は、相手先の都合（経理担当者の退職等）により助成途中での中止となった。助成対象者の選定等に課題が

残ることとなった。

平成 25 年 10 月 1 日 NPO 助成団体の募集を開始し（締め切り 11 月 15 日）たが、応募団体が存在しなかった。プロボノ・ワーカー（人材）の充実も不十分であり、事業の再検討（再構築）が必要である。

ウ、「NPO等支援事業」=共感寄付事業

市民より広く寄付を募りNPO法人等に資金の助成を行う事業を実施しました。

事業のスキームとしては

- ① 市民・企業等に対して・・・寄付金を募集します。
 - ② NPO法人等に対して・・・資金の助成を希望する団体を募集します。
 - ③ NPOながさきの役割・・・応募があったNPO法人等を審査し、助成にふさわしい団体を選定し、助成します。（①の寄附金より事業維持資金として20%程度をNPOながさきがもらう予定です。審査委員にはNPOながさき以外に長崎市・県民ボランティア活動支援センター・メットライフアリコ等。）
- ① のメリット：NPOながさきへの寄附金は「寄付税制」により控除等があります。
 - ② のメリット：団体の資金不足からくる事業の不調を改善します。
 - ③ のメリット：多くの寄付金を得ることにより認定NPO法人への道が拓けます。寄付の仲介的役割を行うことにより財源の確保が可能です。②の団体との協働事業や連携等の可能性が拡大します。長崎県に寄付文化を醸成する役割を担うことができます。

・「ながさき共感寄付」の助成団体募集状況

応募期間：平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 1 月 17 日

共感寄付説明会：平成 25 年 12 月 14 日（土）11:00～12:00、場所：ランタナ 2F

・「ながさき共感寄付審査会」の開催状況

日時：平成 26 年 2 月 15 日（土）14:45～17:00

場所：長崎市市民活動センター「ランタナ」2F

審査委員：川崎清廣（NPOながさき）、西田誠（新現役の会）、緒方直樹（メットライフアリコ生命）、原田宏子（長崎市市民協働推進室）、綾部哲也（長崎県社協）

討議内容：審査基準及び審査方法の検討（14:45～15:00）

審査委員会（15:00～16:30）3 団体との面談及び質疑応答

特定非営利活動法人 輝、音浴博物館、特定非営利活動法人 DV防止ながさき

審査結果

団体名	輝（テライト）	音浴博物館	DV防止ながさき
平均点	33.5	34	47.5

30点を合格ラインとしたので、3団体とも合格となった。

・「ながさき共感寄付」の寄付金募集状況 (H26.4 開始、H26.6.30 現在)

計	団体名	輝 (テライト)	音浴博物館	DV防止ながさき
23人 156,000円		3人 4,000円	1人 10,000円	19人 142,000円

④ 調査研究事業

NPO法人会計基準協議会では、2013年10月～2014年2月にかけて、都道府県ごとに、全国のNPO法人の2012年度の決算書をチェックし、NPO法人会計基準普及調査を実施することになりました。NPOながさきでは、その調査に長崎県担当として関わり、2014年3月「NPO法人会計基準白書2013」が刊行されました。

Ⅲ 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲および人数	支出額 (円)
情報収集・提供等事業 (教育普及事業)	新会計基準導入セミナー	3月	長崎市	2名	NPO法人等 9名	8,260
	ipad 講座	8月	長崎市	4名	会員等 15名	15,000
マネジメントサポート事業	窓口相談会	7月～6月	長崎市 佐世保市	2名	NPO法人等 41名	1,254,363
	ながさきプロボノ・プロジェクト & 共感寄付	7月～6月	長崎市近郊	3名	NPO等・ワーカー等 名	
調査研究事業	NPO法人会計基準普及調査	12月	長崎市	1名	NPO、自治体関係者等多数	0

平成25年度 活動計算書

平成25年 7月 1日から26年 6月30日まで

特定非営利活動法人 NPOながさき

科 目	金 額 (単位:円)	
I. 経常収益		
1. 受取会費		
受取入会金		
正会員受取会費	190,000	
賛助会員受取会費		190,000
2. 受取寄付金		
寄付金	436,000	436,000
4. その他収益		
雑収益	144,890	
受取利息	336	145,226
経常収益計		771,226
II. 経常費用		
1. 事業費		
(1)人件費		
給料手当	380,500	
人件費計	380,500	
(2)その他経費		
業務委託費	156,000	
諸謝金	71,000	
印刷製本費	278,840	
旅費交通費	110,786	
通信運搬費	120,250	
消耗品費	35,675	
賃借料	92,186	
租税公課	0	
支払手数料	0	

科目	金額(単位:円)			
諸会費	30,000	1,277,623		
雑費	2,386			
期末商品棚卸高	0			
その他経費計	897,123			
事業費計				
2. 管理費		498,232		
(1)人件費				
福利厚生費	178,450			
人件費計	178,450			
(2)その他経費				
通信運搬費	44,288			
消耗品費	4,860			
賃借料	1,684			
租税公課	71,000			
減価償却費	92,400			
雑費	105,550			
その他経費計	319,782			
管理費計				
経常費用計				
当期経常増減額			△ 1,004,629	
当期正味財産増減額			△ 1,004,629	
前期繰越正味財産額			2,578,179	
次期繰越正味財産額			1,573,550	

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(平成22年7月20日 平成23年11月20日改訂 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。

(2) 棚卸商品の評価方法

商品の評価方法は最終仕入原価法を採用しています。

2. 事業別損益の状況

事業の種類は「NPO支援事業」の1種類です。

3. 用途が制約された寄付等の内訳

用途が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

当法人の正味財産は1,573,550円ですが、そのうち156,000円は、下記のように用途が特定されています。

したがって用途が制約されていない正味財産は1,417,550円です。

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
ながさき共感寄付事業		156,000		156,000	
合計		156,000		156,000	

4. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価格
無形固定資産						
電話加入権	35,000			35,000		35,000
ソフトウェア	462,000			462,000	92,400	369,600

平成25年度 貸借対照表

平成26年6月30日現在

特定非営利活動法人 NPOながさき

科 目	金 額 (単位:円)		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現 金	230,159		
預 金	941,191		
未 収 金	30,000		
流動資産合計		1,201,350	
2. 固定資産			
電 話 加 入 権	35,000		
ソ フ ト ウ ェ ア	369,600		
固定資産合計		404,600	
資 産 合 計			1,605,950
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	32,400		
預 り 金	0		
流動負債合計		32,400	
負 債 合 計			32,400
III. 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,578,179	
当期正味財産増加額		-1,004,629	
正 味 財 産 合 計			1,573,550
負債及び正味財産合計			1,605,950

平成25年度 財産目録

平成26年6月30日現在

特定非営利活動法人 NPOながさき

科 目 ・ 摘 要	金 額 (単位:円)		
I. 資 産 の 部			
1. 流動資産			
現金	現金手元有高	230,159	
普通預金	十八銀行観光通支店	784,709	
	十八銀行桜町支店	482	
	ゆうちょ銀行	156,000	
未収金	会費(3名)	30,000	
流動資産合計			1,201,350
2. 固定資産			
電話加入権		35,000	
ソフトウェア	おりこうブログ	369,600	
固定資産合計			404,600
資産合計			1,605,950
II. 負 債 の 部			
1. 流動負債			
未払金	給与2人	30,000	
	交通費2人	2,400	32,400
預り金	源泉所得税	0	0
流動負債合計			32,400
負債合計			32,400
正味財産			1,573,550

監査報告書

特定非営利活動法人 NPOながさき
代表理事 川崎 清廣 様

特定非営利活動法人NPOながさきの平成25年度(平成25年7月1日から平成26年6月30日まで)の財務諸表及び関係帳簿書類について監査の結果、適正に処理されていることを認めます。

平成 26年 8月 7日

特定非営利活動法人 NPOながさき

監事 荒 木 宏

